

4月の子育て支援センターだより



春になりました！ひと雨ごとに桜の花が開花していきます。
 この春に花が咲くのを促すように降る雨を「催花雨(かいかう)」といふのだそうです。センターの庭の草木も、どんどん生長しています。
 植物を育てるのは、子育てに似ている…とも言われます。小さな小さな芽に、愛情たっぷりの水とまなざしが注がれています。ご家族の大きな愛に守られているので、子ども達は新しい世界へと飛び出していくのです。デコボコは土の上だって、手をつなげば挑戦できます。
 新しい生活が始まります！ドモドキわくわくのスタートです♡

このデコボコがおもしろい♡

ノビー
くんと
おもちゃ



のびのびごあらのノビーです！

坂下町の支援センターから、大崎の渋川市子育て支援総合センターに引越してきて、今年度で10年目になります。みんな遊びに来てくれてありがとうね。センターには楽しいおもちゃがあるので、毎月紹介していくからね！

♡ 赤ちゃんの日 ♡

うらかな春の陽気と共に、新年度が元気にスタートしました！
 今年度の赤ちゃんの日では、『見つめて、触れて、ほほ笑みあって』をコンセプトに、触れ合い遊びなど親子の楽しい時間を一緒に過ごせて行けたらと思います。
 毎月1回保健師さんと栄養士さんの来館もあり、気軽に相談することもできます！
 たくさんの赤ちゃんの育ちを、お母さんと一緒に見守っていただけたらと思います！
 お友達作りのきっかけや、ほっとするひとときになったらと思いますので、気軽にご参加下さい！

☆毎週水曜日 午前10時より
 担当は、川久保と田野崎です！
 よろしくお願ひします！



♡ わくわくの日 ♡

春本番の4月。新しい出会いにわくわくしますね。
 わくわくでは、親子の触れ合いを大切にしながら、雑巾がけで体幹を鍛えたり、身近な自然に触れながらセンター周辺の散歩に出掛けたりします。ぜひ参加して下さいね。
 担当は、笑顔がチャームポイント田野崎安起子と、声バチャームポイント島田 弥生です。
 みんなでわくわくしましょう!! よろしくお願ひ致します。



♡ 少し大きな赤ちゃんの日♡

4月より木曜に、はいはいから歩き始めの子が集まって、親子で、みんなで、触れあい、笑いあひ遊んでいく、「少し大きな赤ちゃんの日」です。

- ・はいはいする事で骨格筋を使って大脳の働きや呼吸する力が高まっていくそうです。手、腕、足、腰がしっかりしていきます。
- ・親子の触れあいは、わらべうたや季節の歌で、体をいっぱい動かします。そして親子が向かい合って触れあうことで、しあわせホルモンが脳から分泌され、笑顔がはいはい見られます。

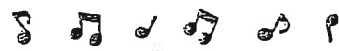
※日中、たくさん動いて、おなかもすいて、食がすすみ、夜はぐっすり眠る、生活リズムが整っていきけるように、「少し大きな赤ちゃんの日」は今年度も笑顔で楽しんで活動、よろしくお願ひします。担当宮代・池田



♡ ~のびのびの日~ ♡

のびのびの日は、月に1回、年齢を問わず誰でも参加できます。季節の行事や自然に触れ、活動する日です。

3月は「じゃがいも植え」をしました。中には4月から就園でセンターから離れるお友達もいましたが、新しくセンターで過ごす親子さんへと思いを込めて植えてくれました。そんな優しいつながりを大切に、今年度もみなさんと楽しめたらいいなと思います♪



4月10日(金)は春を探しに、こもち白井宿に出かけます。ぜひ、お気軽にご参加ください!

担当：田中 幹子 吉沢 靖子

大ダカが卵を産んだよ

1 寝ない肯定で自信を育てる

親子の愛着が大切なことは前月号でも話してきました。その次にまず試みるのは、

自信を育てること



じつは、「すごいね」「上手だね」とたくさん褒めることは、繊細な子には合っていません。

褒めおにありのままのその子を肯定しあげる声かけが必要です(実況中継で肯定)

「起きてきたんだね! おはよう」
「座ってごはん食べてるね」としていることを見たま言葉にしてみると、ぐんぐん変わります。

2 ネガティブ発言には共感しない

次に取り組むのは「心のブレーキ」を外すこと。ママやパパが「信じてみよう!」と思えた瞬間から、子どもは愛わりはじめます。

「やってみようかな」「でもやっぱりこわい」「行かない」。ここで「そか、こわいね」と共感はいません。「そうなんだね〜」とサラッと受け流します。

心のブレーキをコントロール
発達科学コミュニケーション

参照:池田みか
「HSC: 繊細な子の育て方」

3 「ちょっと頑張ればできる」スモールステップ

あともう少しで動き出しそうな子の背中を押すために、「それならできかも!」と思えるスモールステップを実践してみます。

「見てよか?」「ママと手もつないで近くまで行ってみる?」
その声をかけながら、小さな一歩を踏み出すたびに、「こまで来たね」と肯定を続け、「できた!」という成功体験の気持を積み重ねていきます。



自信が育ち、心のブレーキを自分で外せるようになって「やってみたい!」が止まらなくなります。

繊細な子が成長できる親子のコミュニケーションを続けたことで、安心感と自信が育ちました。

さらに、スモールステップを積み重ねることで挑戦する力も伸びていきます。子どもを信じて魔法の言葉「そうなんだね〜」です♡

